

令和 2 年 7 月 11 日現在

機関番号：32529

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K04055

研究課題名(和文) 戦後日本の農業協同組合による保健・医療・福祉活動の歴史社会学的研究

研究課題名(英文) Sociological Study of Japan Agricultural Cooperatives' Health, Medical and Welfare Activities in the Post-War Era, Japan

研究代表者

川上 裕子 (KAWAKAMI, Yuko)

亀田医療大学・看護学部・講師

研究者番号：20612196

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、文献研究とインタビュー調査によって、農業協同組合による農村における保健医療活動ならびに福祉活動の形成・展開過程を歴史社会学的に考察することを目的とした。調査の中心となった高齢者福祉活動に関しては、多様な主体が福祉を推進する福祉多元主義の過程で生成された活動領域である。農業協同組合による高齢者福祉活動には組織の存在意義の提示や事業の拡大、統廃合による管理的側面という要因があった。また、相互扶助の精神に基づき、組合員を含む地域住民の生活問題の質的变化に沿った生活福祉面の活動そのものであることが確認できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

戦前戦後を通じて地域の保健・医療・福祉活動を一貫して担ってきた農業協同組合とその前身である産業組合の実践は、地域住民の生活全般を支えてきたという点で極めて示唆に富むものである。本研究では農業協同組合の福祉的機能に着目し、文献とインタビュー調査から実態を把握しようとした点に意義を持つ。高齢社会を先取りした農村地域において農業協同組合が推進した高齢者支援は、地域住民の生命と生活を安定的に支えるための住民組織の育成や資源の開発方策の議論に貢献する可能性を有する。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to clarify the formation and development process of health, medical and welfare activities in rural areas by the Japan Agricultural Cooperatives (JA) from a historical sociological perspective, through literature research and interviews. This part of the research mainly focused on elderly welfare activities; the increasing demands for services for the aging population resulted in various organizations offering welfare services. This signified the appearance of welfare pluralism in Japan. JA's elderly welfare activities allowed them to restructure this part of their operations, expanded their business, and came to define an important part of their existence. The research found that JA's activities, based on the spirit of mutual aid, were closely attached to the qualitative changes in the life issues not only of its members but also of local residents.

研究分野：社会学

キーワード：農業協同組合 高齢者福祉 ホームヘルパー デイサービス 生活指導員

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

人口高齢化を主要因とした医療・介護の提供体制の問題がもたらす社会の安定性の揺らぎへの対応として、いかなるシステム構築が必要か。2014年の「地域包括ケアシステム」の立案によってようやく具体的な方法論の表明に行き着いた。しかし、その中身の未熟さゆえ、同システムは「多様な社会資源の組み合わせの可能性があり、地域ごとの実情に応じて選択することが望ましい」(猪飼周平, 2014, 「地域包括ケアと保健師の使命」『保健師ジャーナル』70(11): 941)とされる。本研究が主題的に取り上げる農業協同組合(以下、JA)およびその前身である戦前期の産業組合(1900年設立)による諸事業は、農業の維持に加え、農業生産のニーズが生活全般のそれと直結している組合員の生活をまるごと支援し、さらに組織の公共性を根拠に組合員以外の地域住民の生活ニーズの充足も担ってきたという特徴を持つ。また、高齢化や過疎化、貧困、生活問題の重層化という地域社会の課題に一貫して対応してきた実態からも、地域の実情に応じた社会資源の開発や蓄積、方法論を有する可能性がうかがえる。

戦時における産業組合の活動は、1938年に始まる国民健康保険制度の推進と一体化しており、組合員の医療・保健要求に応える側面と戦時体制を構築した側面の二面性があったと評価されている(高嶋裕子, 2008, 「戦時体制下の国民健康保険制度」『社会政策研究』8ほか)。一方、戦後のJAについては、戦前からの医療の地域間格差に対する病医院設置や独自の健康推進活動が研究対象となり高く評価されるものの、戦前と戦後の事業の連関については、医療に限定してその発展過程を検討するにとどまっている。すなわち、本研究が着目する保健、医療、福祉の総合的把握についての関心は稀薄で、組織の継続性についても未解明である。

研究代表者は、1941年に公的な資格となった保健師(当時の呼称は、保健婦)の成立過程を研究する中で、保健師の存立基盤が保健と福祉の領域にまたがり、総力戦体制下では人々の身体を通じた民衆管理のエージェントとして理解されていることをつきとめた(川上裕子, 2013, 『日本における保健婦事業の成立と展開』風間書房)。そこで、産業組合や保健所に所属し住民への保健衛生指導を役割とした保健師制度の構築が、農村の社会問題に対する保健・医療・福祉の政策的対応をメゾレベルから明らかにするのではないかと考え、島根県を中心としたフィールドワークと当時を知る元保健師へのインタビューを行った(平成25-27年度基盤研究C「戦前・戦中における農村の社会問題と保健婦制度の構築に関する歴史社会学的研究」研究代表者: 川上裕子)。その結果、所属長・多職種の理解や地域資源に活動が制約されつつも個人・家族への身体ケアを介したアプローチは保健・福祉環境の改善に寄与したこと、戦時下の福祉的な要素を持つ農繁期託児所や共同炊事への関与が地域完結型の生活問題解消であったこと等、地域の維持・存続に積極的な役割を果たしたことが明らかになった。その上で、地域社会における保健・医療・福祉の政策的対応は、組織における人材に加え、組織そのものの機能とその中心的部分を担うリーダーの発想からも検討する必要性のあることが課題として挙げられ、本研究の着想に至った。

2. 研究の目的

戦前戦後を通じて地域の保健・医療・福祉活動を一貫して担ってきた農業協同組合とその前身である産業組合の実践は、公的でもなく私的でもない民間団体である協同組合が地域住民の生活全般を支えてきたという点で極めて示唆に富むものである。そこで、本研究は、農業協同組合による農村における保健医療活動ならびに福祉活動の形成・展開過程を歴史社会学的に考察することを目的とする。

3. 研究の方法

本研究は、1) 産業組合、JAの保健・医療・福祉活動の制度面の検証、2) 産業組合、JAの保健・医療・福祉活動の実践面の検証、3) 1)と2)を通して組合員および地域住民が獲得した生活改善・健康指標への影響や保健・医療・福祉に関する資源の開発、地域の組織化の実態等の検証から構成される。これらを総合的に分析することで、JAが地域住民の身体・生活、地域共同体に与えた影響を明確化する。

研究方法は、1) 文献研究と2) 調査研究に二分される。インタビュー調査については、組合長をはじめとして、保健・医療・福祉活動に変化がみられた局面における担当職員を選定することとした。また、JAが実施したホームヘルパー養成研修を受講し、第一線で高齢者福祉活動を支えた組合員と女性組織も対象とした。

4. 研究成果

1年目は、保健医療活動の歴史的変遷について全国および各県のJA厚生事業に関して網羅的に把握するために、全国厚生農業協同組合連合会(以下、JA厚生連)において沿革史の収集を行った。また、「農業協同組合による保健福祉事業の歴史 - 地域住民の生命と生活はいかに守られてきたか」をテーマとしたシンポジウムを企画・実施した。協同組合論を専門とする研究者や子育てを中心としたJAの福祉活動を専門とする研究者、JAで長く生活指導員を務めた現職員をシンポジストに迎えた。参加者16名の小規模なシンポジウムであったが、企画・実施過程において、史的展開からみたJAによる保健・医療・福祉活動の今日的意義に関する知見を得るとともに、研究者・実践者とのネットワークを築き、史資料の閲覧やインタビュー対象者の選定に関する仲介を得ることができた。インタビュー調査においては、JA厚生連が運営するへき地医療拠点病院の病院長とJAの元生活指導員への聞き取りを実施した。これらより、JAが医療、

保健、子育て、高齢者介護、そして生活全般にわたって、組合員に限定せず広くその地域に暮らす人々に行ってきた活動を大づかみに理解することができた。

2年目は、インタビュー調査において、介護サービスおよび保健活動に携わった組合員と職員等を対象に、ホームヘルパー養成研修事業を中核に展開した高齢者福祉活動と介護保険制度における通所介護(デイサービス)事業について聞き取りを行った。介護保険制度の導入(2000年)前後の時期になされたこれらの事例からは、活動に取り組んだ経緯と変遷、地域ボランティア活動(有償ボランティア活動)から介護保険制度下のサービス提供に移行していく過程とその一部解消過程が明らかになった。また、組合員や地域住民のニーズはもとより、JAの存在意義の提示、事業の拡大への契機といった事業導入の動機や端緒が確認できた。この結果は学会報告に活用した。

3年目は、高齢者の通所介護(デイサービス)事業を行っているJAを新たに選定し、高齢者福祉活動の立ち上げから運用に携わったJA職員と組合長に対してそれぞれ聞き取りを実施した。JA入職後の経歴やJAの高齢者福祉事業に対する考え、地域住民と地域社会の生活福祉面の課題の変化や捉え方を中心に聞き取り、事例検討という形で国際農村医学会にて報告した。これらのインタビュー調査によって、過去2年間に行った調査で確認された組合員や地域住民のニーズ、JAの存在意義の提示、農協事業の拡大という動機に加え、支店の統廃合による影響、スタッフの育成・定着率の向上といった管理的側面が見出された。

4年目は、過去3年間の調査で対象とした中国地方と甲信地方の中山間地域にあるJAのうち、中国地方のJAの助けあい組織活動の変遷と女性組織の活動実態に関して、元生活指導員の取り組みとそれを支えた思想を基軸に資料収集とインタビュー調査を実施した。これまでのインタビュー調査の過程で、保健・福祉活動の推進にあたってはJA女性組織の活動と切り離せないことが明らかになったことから、女性組織の沿革史に加えインタビュー対象者による講演記録や一般誌への寄稿文まで目配りした。

本研究では、研究の対象時期として、JAの前史として社会福祉の萌芽期である戦前戦中期、社会福祉の拡充期・見直し期である1980年代以前も設定していたが、結果的に1990年代の社会福祉基礎構造改革以降が中心となった。また、研究対象とした活動内容についても、研究期間全体を通して、保健医療活動に関しての実態把握は手薄になった。しかしながら、福祉活動とくに高齢者福祉活動については、その参入過程と現在に至る展開について検証する手掛かりを得た。最終年度で聞き取りを行った元生活指導員からは、高齢者の見守り活動や介護のほか、助産施設の運営にも関与していたことがわかり、高齢社会を先取りした地域における高齢者支援のねらいやそこに関与するJAの女性組織が果たした役割について示唆を得た。JAの高齢者福祉活動は、多様な主体が福祉を推進する福祉多元主義の過程で生成された活動領域である。相互扶助の精神に基づく、組合員を含む地域住民の生活問題の質的变化に沿った生活福祉面の活動そのものと言える。最終的に、本研究においては、組合員のみならず地域住民の生命と生活を安定的に支えるための協同組合による住民組織の育成や資源の開発の一端を明らかにすることができると考える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計12件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 8件）

1. 発表者名 川上裕子
2. 発表標題 保健婦規則制定前後に紹介された海外の公衆衛生看護婦
3. 学会等名 日本看護歴史学会第33回学術集会（日本赤十字看護大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 European Models of Overseas Public Health Nursing Introduced into Japan 1935-1943
3. 学会等名 International Conference on the History of Nursing (Florence, Italy)（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中幸子・川原由佳里・小野桂・川上裕子
2. 発表標題 看護におけるオーラル・ヒストリー研究に関する倫理的配慮の動向
3. 学会等名 日本看護歴史学会第33回学術集会（日本赤十字看護大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 Creation of Arena for Elderly Welfare in Japanese Agricultural Cooperatives
3. 学会等名 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine (Tokyo, Japan)（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuko Kawakami, Kumiko Sato
2. 発表標題 Healthcare and Poverty in Urban Japan 1935-1941: at the Dawn of the Public Health Center and Public Health Nursing
3. 学会等名 21st Southern Association for the History of Medicine and Science Conference (Charlottesville, USA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川上裕子
2. 発表標題 農業協同組合による「高齢者福祉」という活動領域の生成
3. 学会等名 日本協同組合学会第37回大会 (徳島大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 The Role of Rural Social Work in Wartime Japan in the Development of Public Health Nursing
3. 学会等名 34th Annual American Association for the History of Nursing Conference (Fairport, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kumiko Sato, Yuko Kawakami
2. 発表標題 Nursing Reform and Missionary Activities in Japan After the Second World War, 1945-1951
3. 学会等名 34th Annual American Association for the History of Nursing Conference (Fairport, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 Early Stages of Public Health Nursing in Japan: Expansion of Health Centers Before and During World War II
3. 学会等名 35th Annual American Association for the History of Nursing Conference (San Diego, USA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上裕子
2. 発表標題 戦中期の大阪女子厚生学園における保健婦教育
3. 学会等名 日本看護歴史学会第30回学術集会 (聖徳大学)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 The Public Health Nurses' Activities at Sangyo Kumiai in Rural Regions Japan
3. 学会等名 33rd Annual American Association for the History of Nursing Conference (Chicago, USA) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yuko Kawakami
2. 発表標題 What Did Public Health Nurses Really Do? : The Role of Public Health Nurses in the First Training Schools in Wartime Japan
3. 学会等名 19th Southern Association for the History of Medicine and Science Conference (Myrtle Beach, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

・シンポジウムの企画・司会
川上裕子, 2017年1月28日(於お茶の水女子大学), 「[シンポジウム] 農業協同組合による保健福祉事業の歴史 - 地域住民の生命と生活はいかに守られてきたか」『文部科学省科学技術人材育成費補助事業女性研究者研究活動支援事業(連携型)平成28年度お茶の水女子大学「若手女性研究者支援」プロジェクト報告書』

・オープンアクセスブログ(査読有)
Yuko Kawakami, Sep.7, 2017, Cooperative Work and Public Health Nursing in Rural Wartime Japan. Nursing Clio,
<https://nursingclio.org/2017/09/07/cooperative-work-and-public-health-nursing-in-rural-wartime-japan/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----